

こんにちは!

JA
探検隊

JA秋田なまはげ
秋田地区営農センター

いけだ しゅんすけ

池田 駿介です!



営農指導全般を学びながら、事務処理などを行っています。これから春に向けて、稲作なども始まり、組合員の方からの相談を受けたり、指導を先輩方と一緒にやっていきます。まだ、不安なことはありますが、少しでも組合員の方の役に立てるように頑張ります。

Profile

年齢	21歳
入組	1年目
出身地	秋田市雄和



趣味でやり始めたスノーボードです。下手ですけど趣味として楽しくやっています。



皆様からのお便りや写真、
絵手紙や俳句などの作品を
お待ちしております。



応募のきまり

住所・氏名・年齢及び一言メッセージをご記入のうえ、下記宛先までお送りください。●クロスワードパズルに応募する場合は、パズルの答えをご記入ください。●ご家族の写真などをお送りいただく場合は、写真に写っている方の氏名や年齢を忘れずにご記入ください。●ペンネームでの掲載をご希望の場合は、ペンネームをご記入ください。ペンネームの記入がない場合はインイニシャルで掲載いたします。当選者発表については本名での掲載となりますので、ご了承ください。

63

010-0877
秋田市中秋葉町2-140
JA秋田なまはげ
企画管理課
広報係

パズルの答え
〒
住所
氏名
年齢
JAへの
メッセージ等

来月号のテーマ
「○○ファースト」や
身近な出来事、
JAへのメッセージを
お書きください。
※消費税率の改定により
郵便料金が変わりました
ので、ご注意ください。

EメールやFAXの応募もお待ちしています

- Eメールから kikaku-4@ja-akita-namahage.or.jp
- FAXから 018-832-6622

JA秋田なまはげ 企画管理課 広報係 まで

※応募いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。なお、当広報によせられた住所・氏名・年齢などの情報は広報活動以外で使用することはありません。編集の都合上、掲載されない場合や内容が編集される場合がございます。予めご了承ください。

自己改革 実践中



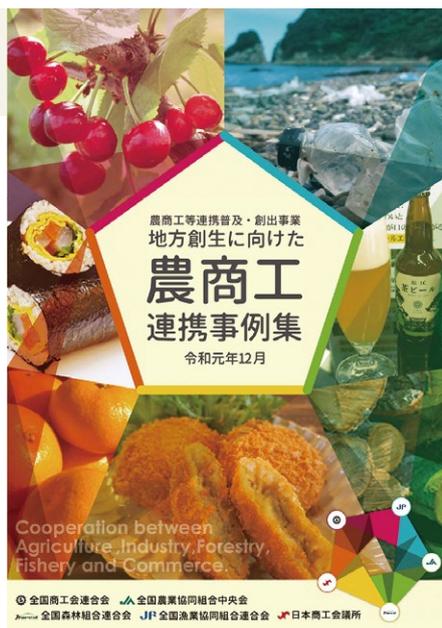
政府が定めた「農協改革集中推進期間」が令和元年5月で期限を迎えましたが、JAではこれからも継続して自己改革に取り組んでいきます。「農業や地域になくはないJA」を目指し、地域農業に根ざした活動を多角的に展開していきます。

業種を超えた連携や商品開発で6次産業化を進め、
地場産品の消費拡大による地域の活性化を目指しています。

「地方創生に向けた農商工連携事例集」に 当JAによる枝豆の6次産業化の取り組みも掲載

農業者の所得増大 農業生産の拡大 地域の活性化

地方創生に向けて連携を結ぶ5団体により、農林水商工分野が連携して商品開発や農林水産物のブランド化を行う事例を取り上げた「地方創生に向けた農商工連携事例集」がまとめられました。掲載された全国各地の17事例のうち11事例でJAが参画しており、当JAと秋田商工会議所による枝豆の冷凍食品やパウダーの開発経緯も紹介されています。12月17日(火)に東京都で開催された農商工等連携普及・創出事業「共創の日2019シンポジウム」では、当JA 営農経済部の長谷川清仁次長が枝豆の6次産業化について講演しました。「連携事例集」は、「共創の日2019」ホームページ(<http://kyoso-day2019.jp/>)からご覧いただけます。



★今月のあなたの運勢 2020年2月★



射手座

(11.23~12.21) 旅行運に恵まれます。行くのはもちろんですが、計画を立てるのもお勧め。地域の集まりには参加して吉